

生物基礎

第3問 問2

## グラフと知識を関連づけて推論する問題で、各学力層で差がついた

第3問 次の文章(A・B)を読み、下の問い(問1～5)に答えよ。(配点 16)

A 図1は、世界の気候とバイオームの関係を示している。年平均気温が $-5^{\circ}\text{C}$ を下回るような地域には、(a)ツンドラが成立し、(b)年降水量がある程度以上ある地域では森林が成立する。

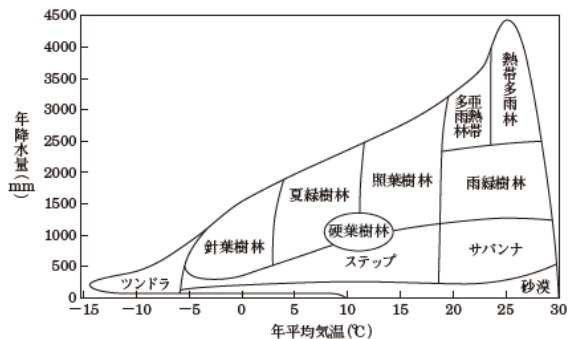


図 1

問2 下線部(b)に関連して、樹木から落ちる葉や枝、花などはリターフォールと総称される。図2は、日本のある照葉樹林(左図)とインドネシアのある熱帯多雨林(右図)における月ごとのリターフォール量の変化を示している。図2から推論できることを述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 13

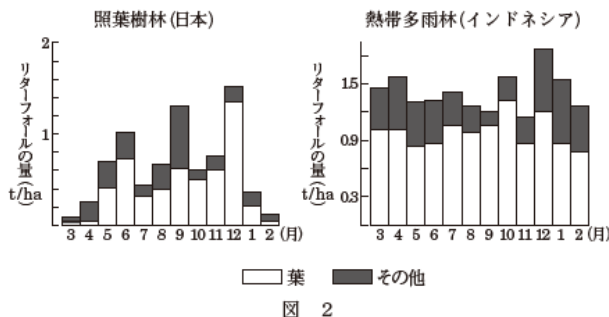


図 2

- ① この照葉樹林の樹木は、2月・3月にはほとんど葉をもたないため、森林の林床が明るくなる。
- ② この熱帯多雨林は年間を通じて、落葉と成長によって、葉が入れ替わっている。
- ③ この照葉樹林で優占する樹木において、最も活発に新しい葉が成長するのは12月である。
- ④ この熱帯多雨林で優占する樹木において、最も活発に新しい葉が成長するのは12月である。

第3問 問2

正解率	46.1%
SS65～70	84.8%
SS60～65	73.4%
SS55～60	65.6%
SS50～55	50.6%
SS45～50	38.5%
SS45未満	20.3%

2021年度第3回ベネッセ・駿台  
大学入学共通テスト模試

「生物基礎」

受験者数:	85,449人
平均点:	22.9点
標準偏差:	8.5

## 生物基礎

## 第3問 問2

## グラフと知識を関連づけて推論する問題で、各学力層で差がついた

## 結果分析

第3問の問2は、照葉樹林（日本）と熱帯多雨林（インドネシア）におけるリターフォール量の変化を示すグラフと、バイオームに関する知識をもとに正しい推論を選択する問題で、各学力層で差がつかしました。

リターフォールという聞き慣れない用語と見慣れないグラフを用いた出題でしたが、グラフが何を表しているのか、そこから何が読み取れるのかを丁寧に考えていけば、解答できたと思われます。受験生の約3割が選択した選択肢①では、「照葉樹林も熱帯多雨林も常緑樹が優占する森林である」という知識から、推論として不適當であると判断する必要がありました。グラフの適切な読み取りに加え、基本的な知識が身につけているか、またその知識を引き出すことができたかで差がついたと思われます。

## 指導のご提案

2021年に行われた共通テスト「生物基礎」（1月31日実施）においても、見慣れないグラフから読み取れることと、生態系に関する知識を関連づけながら考察する問題が出されています（第3問問5）。そのため、これからのご指導として、まずは教科書に載っている基本的な知識を確実に身につけることや、基本的な概念を正しく理解することが重要になると思われます。その際、単純な知識の暗記とならないよう、分野の内容を体系的に整理・理解させることが大切です。そのうえで、初見の資料や図表を用いた考察・推論問題において解答に必要な知識を引き出せるよう、入試問題などを通じて、関連する知識を引き出す演習を行うとよいと思われます。